

## 1 設置の目的

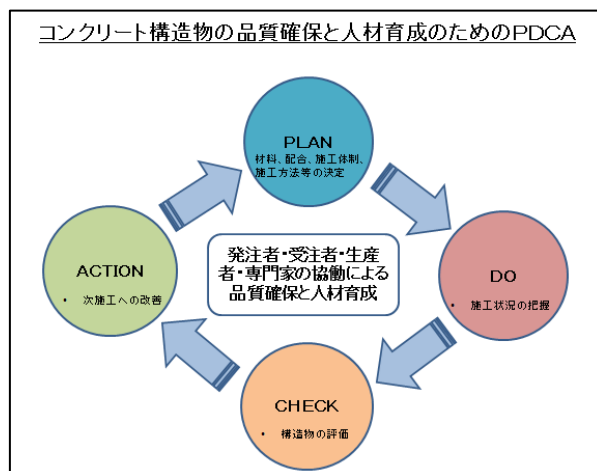
県南広域本部管内における高品質かつ高耐久なコンクリート構造物の築造及びコンクリート施工管理技術に関する人材育成を目的とする。

## 2 現状

- 重要構造物の多くはコンクリート構造物
- コンクリート構造物の品質・耐久性は施工プロセスに支配される
- 不適切な施工をすれば、構造物の寿命を著しく縮め、社会的・経済的損失が大きい
- 適切に施工することにより、より耐久性の高い構造物が築造可能
- 技術者の高齢化、退職、新規入職者の減少などにより技術の移転・伝承が危機的状況
- コンクリートの品質に関する意識の向上、知識、技術力の習得が急務

## 3 協議会の必要性

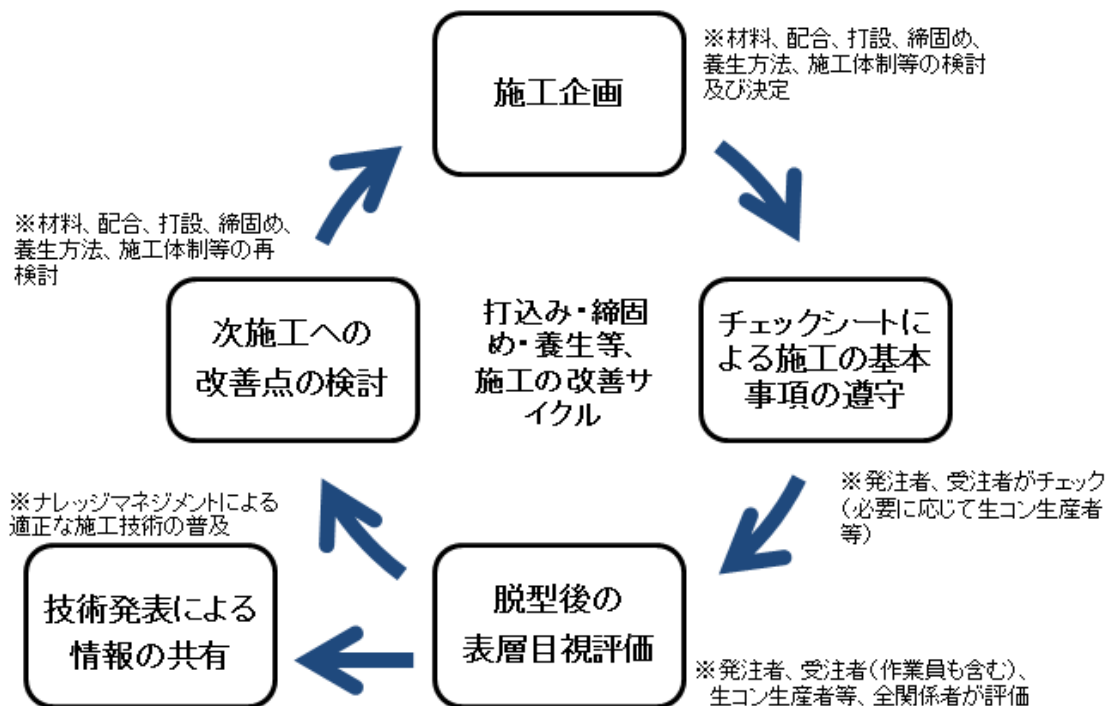
- より高品質、高耐久なコンクリート構造物を実現するためには、受発注者とも意識、知識、技術力の高い人材を育成する必要（人が育たなければ、実現しない）
- そのためには、施工企画（PLAN）→実施工（DO）→評価（CHECK）→改善（ACTION）による継続的な品質のスパイラルアップによる品質改善システムの構築が必要
- 生コン生産者、工事施工者、発注者が有機的に連携して取り組むことで、PDCAサイクルを更に効果的に機能させることが可能
- この協議会は、発注者、受注者に加え、生産者及び研究者等の専門家に参加いただき、各々の役割を担いながら相互に連携し、PDCAのスパイラルアップによる高品質・高耐久な構造物の築造および技術者の人材育成などのため、次の活動を実施する
  - ①コンクリート構造物品質確保推進活動（QC活動）の活性化に関すること
  - ②コンクリートの施工技術に関する人材育成に関すること
  - ③コンクリートに関する技術交流に関すること



#### 4 QC活動

- QC活動は、内部構造が密実な真の耐久性を備えた構造物を目指し、「施工状況把握チェックシート」、「表層目視評価法」等を活用し、品質のスパイラルアップによる高耐久な構造物の建設および技術者を育成するもの
- 現場打ち構造物のうち、鉄筋コンクリート構造物、プレストレストコンクリート構造物及び水密性を要する無筋構造物を対象として実施

#### 県南地域におけるQCシステム



※QC活動：品質の向上及び改善のための活動（QC：Quality Control の略）

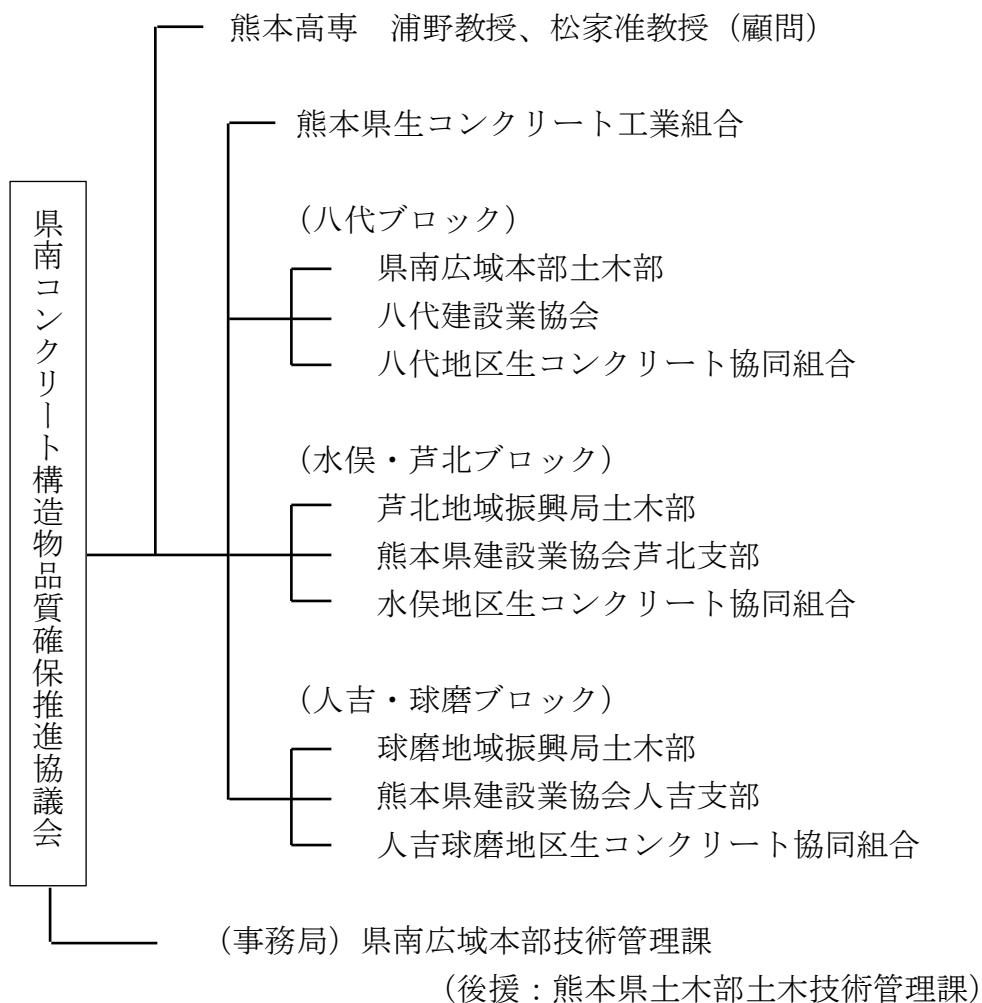
※チェックシート：共通仕様書等の技術基準の中でも特に重要なものを抜粋したもの

※表層目視評価：横浜国立大学細田准教授と鹿島の協働開発による表層品質評価手法

## 5 協議会の構成団体

- <施 工 者> 八代建設業協会  
 県建設業協会芦北支部  
 県建設業協会人吉支部
- <生 産 者> 熊本県生コンクリート工業組合  
 八代地区生コンクリート協同組合  
 水俣地区生コンクリート協同組合  
 人吉球磨地区生コンクリート協同組合
- <発 注 者> 熊本県県南広域本部土木部  
 熊本県芦北地域振興局土木部  
 熊本県球磨地域振興局土木部
- <学 識 者> 熊本高専 建築社会デザイン工学科

## 6 組織図



(参考)



山口県が10年の歳月をかけて品質向上に取り組んだ成果。ガラス質のケイ酸カルシウム水和物（C-S-H）で覆われた美しい光沢のある密実な構造物で、初期欠陥が一切なく耐久性に優れた理想的な構造物である。